

寿を願ひて作る歌一首

四四七〇番

水泡みづほなす 仮かれる身みそとは 知しれれども なほし
願ねがひつ 千ちとせ年の命いのちを

冬ふゆ十一月五日の夜よに、小雷せうらい起おこり鳴なり、雪落ゆきふ
りて庭にはを覆おほふ。忽たちまちに感憐かんれんを懐むだき、聊いささかに

作る歌一首

四四七一番

消残けのこりの 雪ゆきにあへ照てる あしひきの 山橋やまたちばなを
つとに摘つみ来こな